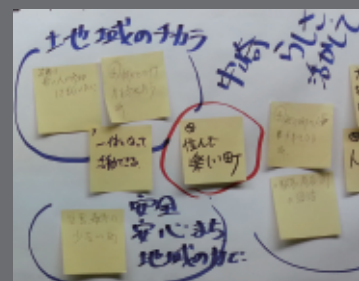


中崎 コレカラ NEWS

発行：一般財団法人明石コミュニティ創造協会

これからのまちづくりを
考える意見交換会が
行われました！



開催情報

第4回意見交換会

日程：平成25年2月13日

会場：勤労福祉会館

当日のプログラム

開会

1. これまでの意見交換会の振り返り
2. グループごとに意見交換
3. 全体で共有
4. まとめ（今後に向けて）

閉会

中崎コレカラ NEWS に
関するお問い合わせは
明石コミュニティ創造協会
TEL:078-918-5248
柴田まで

こんな中崎になつて

「新たな参加者も楽しみながら話し合い」

2月13日(水)
勤労福祉会館



4回目の意見交換会が行われました。今回初めての人が9名、前回参加がなかった女性の方5名を含む、合計30名が集まりました。誰もがざつとばらんにまちのことについて対話することで、中崎の将来像がさまざまに語られました。

初めて参加して

「有意義に過ぎ」せた。次回も楽しみ」「自由に意見を出せるので、お互いの考えがよくわかる。議論が大事」「みんな地域を良くしたい」と思っていることが、対話により改めて確認できた。思いが同

じなら校区でまとまれば「みんな積極的な意見を出して、勉強を増やしたい」など地域の中で自由に話し合える場が大切との実感がさらに深まったのではないのでしょうか。

若い世代とは

前回の意見交換会でさまざまな世代、なかでも若い人の意見が必要との声が挙がりました。若い人10代や20代を思い浮かべるかもしれない。改めて若い人とはどれくらいの人をいうのでしょうか。あるグループでは「どの世代の意見も大切。50代や60代も地域では若く、そうした人たちの参加こそもつと必要では」と話しました。昨年3月、自治会長

のみでスタートしたまちづくりを考える場。この度はじめて参加された方の中にもこうした50代や60代の若い世代の方々が出席されています。回を重ねるごとに徐々にではありますが、確実に中心の輪が広がりにつつあるのではないのでしょうか。

次回に向けて

意見交換会の最後にさらに一人でも多くの方へみんなと呼びかけて、校区一丸となつて中崎を盛り上げていくことを確認しました。中崎の将来像の実現に向けて、どんな取り組みが必要なのか考えていきたいと思います。

■意見交換で概ね次のような将来像が見えてきました■

- ・ 子どもからお年寄りまでお互い気にかけて

“思いやり溢れるまち”

- ・ 美しい景観を守りながら住民みんなが

“安全・安心に暮らせるまち”

- ・ 歴史や文化を活かし、さまざまな世代が交流できる

“活気あるまち”

※こうした将来像の実現に“校区一丸”となることを確認

次回日程は決まり次第お知らせします。皆さまの参加をお待ちしています。

